

2010年に弘前大学育成の果肉まで赤いりんご第1号として品種登録

「紅の夢」とは、弘前大学農学生命科学部附属藤崎農場で行われた、リンゴの育種プロジェクトによって誕生した新品種のりんごです。全国で生産されているりんごの約50%以上を占める「ふじ」の誕生から70年、「多品種化時代を生き抜く特徴あるりんごを！」をコンセプトに「紅の夢」は2010年に、弘前大学育成の果肉まで赤いりんご第1号として農水省に品種登録(登録番号19259)を行い、様々なメディアに取り上げていただきました。

果肉まで紅く美しいりんご

紅の夢
(くれないのゆめ)



「紅の夢」公式ホームページ <http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/kurenainoyume/>

最大の特徴は果肉が赤く、おいしいこと。

「紅の夢」の最大の特徴は果肉が赤く着色することです。しかもこれまでの赤肉品種にありがちであった、「洗って生では食べられない」という問題が克服され、酸味の効いた生食ができるおいしいりんごです。



果皮が白い!!
でも...
果肉は赤い。
なぜだろう?



- ・収穫期: 10月下旬～11月上旬
- ・重さ: 300～350g
- ・糖度: 約13%～
- ・酸度: 約0.9%
- ・S遺伝子型: S₃S₇
- ・外見: 円から楕円形, 果皮は濃い暗赤色で果肉は淡紅色。
- ・味: 渋みがなく酸味があるため生食でも加工にも適した味です。
- ・貯蔵性: 普通冷蔵で約3ヶ月保存できます。



「紅の夢」普及推進委員会の設立

赤い果肉りんご「紅の夢」普及推進委員会は、「紅の夢」の普及推進に向け、弘前大学と地域企業、行政及び各種団体等との強力な連携・協働の下、情報交換を深め様々な事業を展開する事を目的として、平成25年3月5日に設立しました。

・平成25年から平川市の篤農家さんが栽培を開始!!



・委員会発足の記事が東奥日報、陸奥新報に掲載されました。

・平成25年秋から苗木の販売開始。予約受付中!!

これまで、原田種苗さんとの共同研究なかで、安心して生産者が栽培でき、消費者の方へ提供できるよう、様々な取り組みを行ってきました。その結果、我々もたくさんの知識・技術を蓄えることができ、平成25年秋から苗木の販売を開始する運びとなりました。



※現在「紅の夢」の正規取扱店は株式会社原田種苗のみとなっております。
お問い合わせ先 TEL: 0172-62-3349